



JBIC

JAPAN BANK FOR INTERNATIONAL COOPERATION

JBIC-NGO定期協議会

防災分野における本行の取り組み (統合的アプローチの必要性)

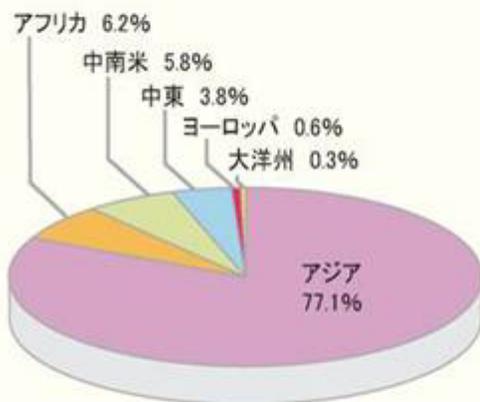
2005年2月14日

国際協力銀行
開発業務部企画課

1. JBICの防災分野への取り組み

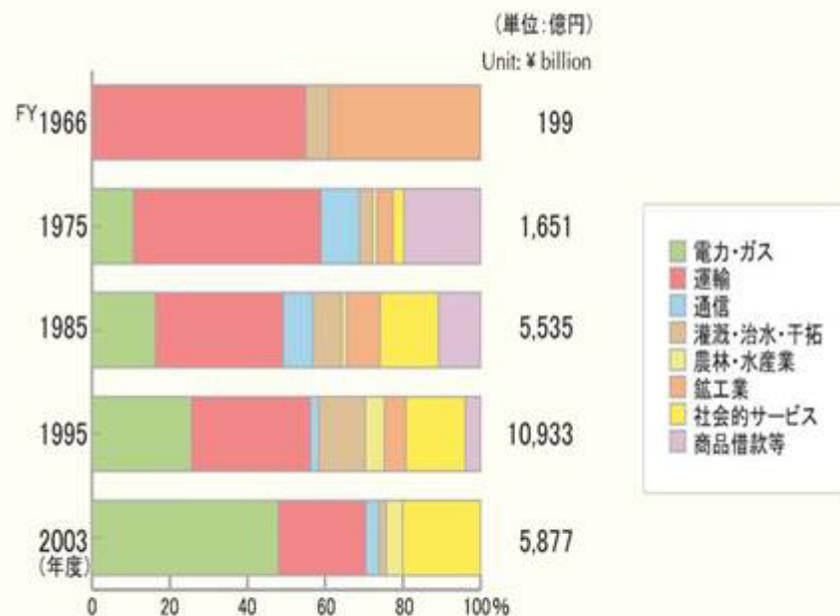
< 円借款の実績 >

円借款地域別承諾累計(1960年度～2003年度)



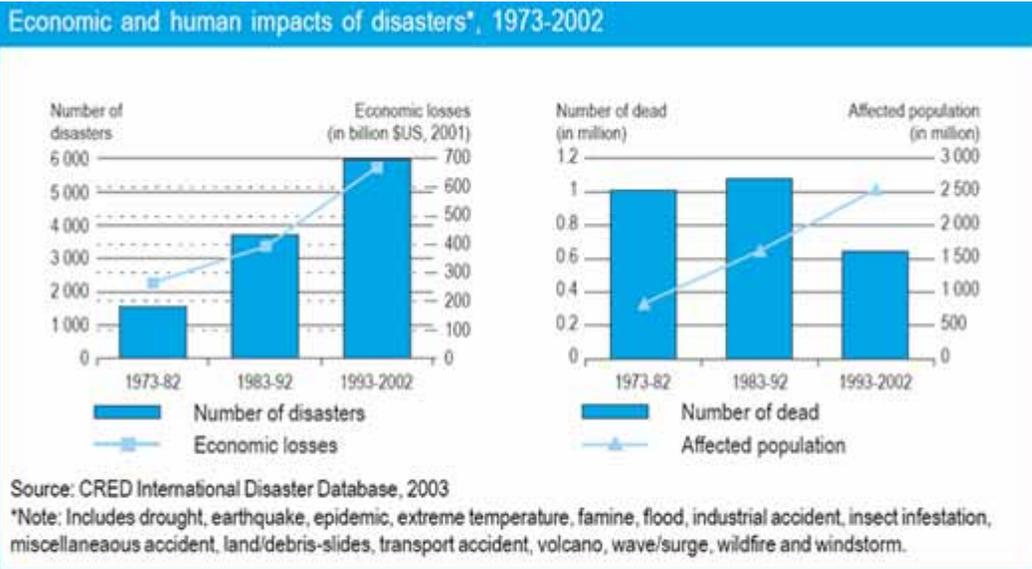
円借款の地域別承諾額は、アジア地域が約8割を占めています。

円借款部門別承諾状況

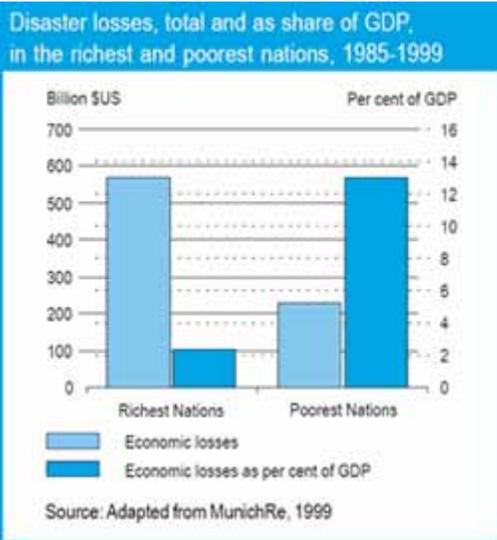


円借款を部門別に分類すると、おもに電力・ガス、運輸等のインフラ整備に向けてられています。

< 開発途上国に対する防災支援 >



* UN General Assembly Res. 47/216 "Requests the Secretary-General, with the assistance of the inter-agency consultant for the Strategy, to plan and coordinate, in consultation with Governments and relevant organizations of the United Nations system, including the financial institutions, the 2004 review of the Yokohama Strategy."



開発途上国：災害に対する脆弱性

↓
 貧困削減、経済社会発展の阻害要因

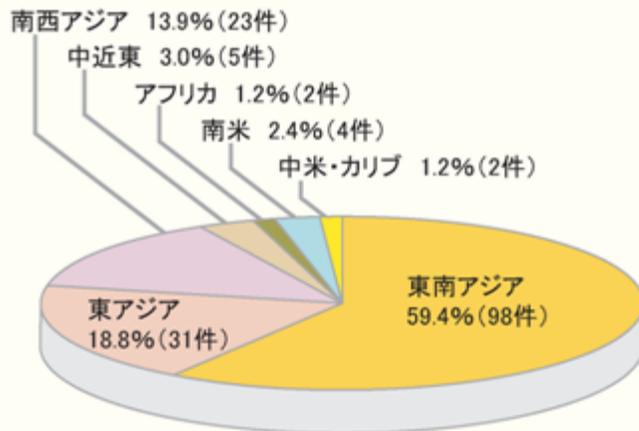


JBICは開発途上国に対する災害対策を支援

< 防災分野に対する取り組み >

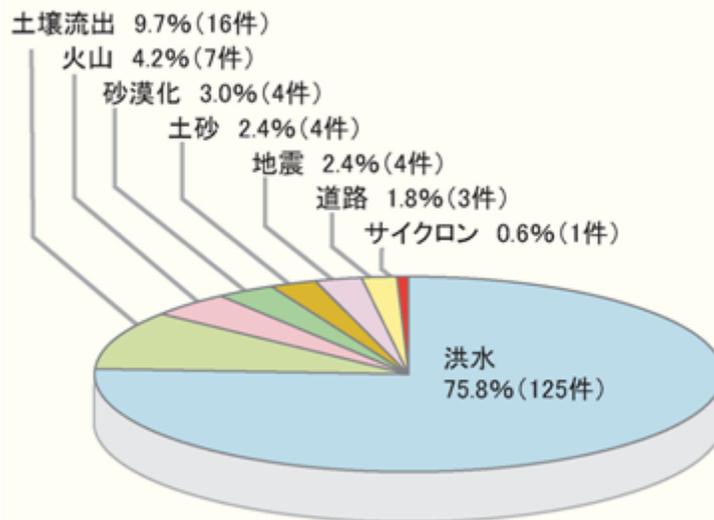
JBICはこれまで、167件の災害対策案件に対し、総額約1兆1,729億円の支援を実施している。

対象とする地域



アジアへの支援が9割以上を占めています。中でもインドネシアやフィリピンへの支援が多くなっています。

対象とする災害



洪水に対する支援が最も多くなっています。

<スマトラ沖地震に関する取り組み>

スマトラ沖地震 (2004年12月26日)

インドネシア、タイ、マレーシア、スリランカ、モルディブ、**インド**、ミャンマー、バングラデシュ、ソマリア、タンザニア、ケニア、セイシェル等で被害

インド「タミールナド州植林事業」

本事業において実施されたマングローブの植林により、同事業実施地域では津波の被害が軽減されたとの報告あり。

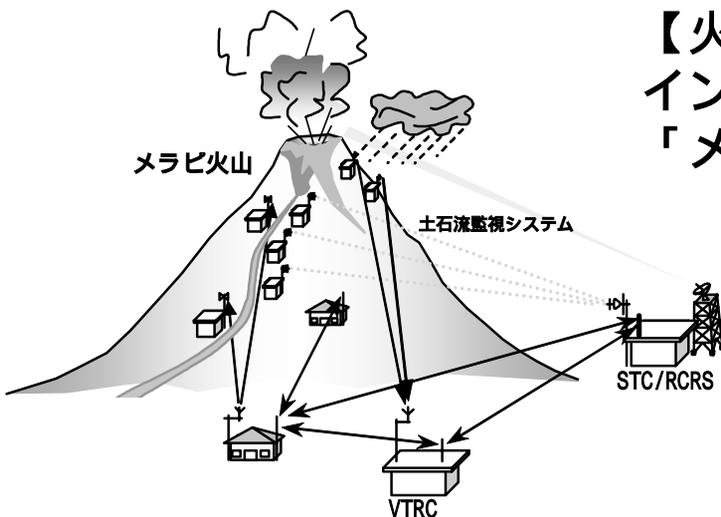


早期警報システム



【洪水災害】
フィリピン

「パシッグ河洪水予警報システム事業」
(1983年)



【火山災害】
インドネシア

「メラピ火山およびスメル火山防災事業」
(1995年)

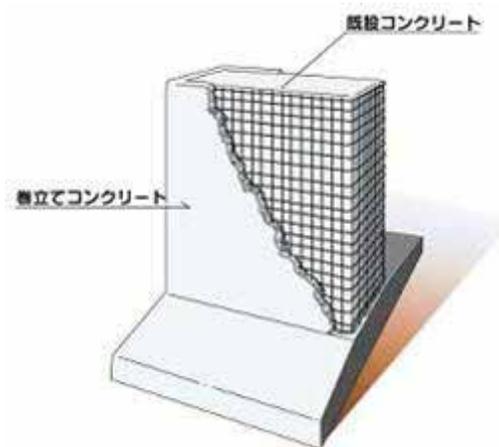
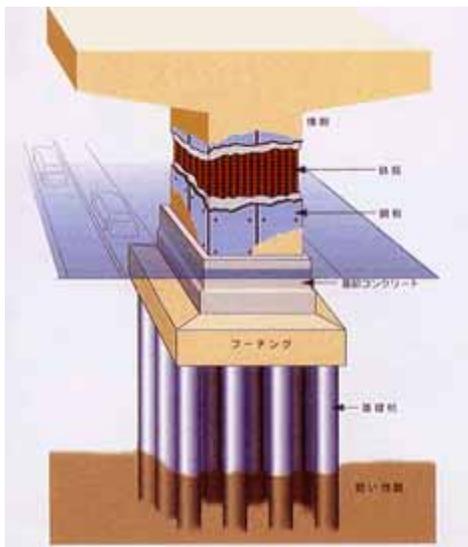
2. 我が国の知見を生かした取り組み

< 我が国からの技術移転 >



トルコ

「イスタンブール長大橋耐震強化事業」



RCライニング工法

< 地方自治体の知見を生かした取り組み >

(1) トルコ防災計画に対する提言（兵庫県との連携）



JBICはトルコの防災計画に対し、以下の提言を実施

- ・ 法的枠組みの整備
- ・ 次世代型防災マニュアルの導入
- ・ 即時被害評価のための新手法

阪神・淡路大震災を経験した兵庫県と連携

(2) フィリピン「ピナツボ火山災害緊急復旧事業」

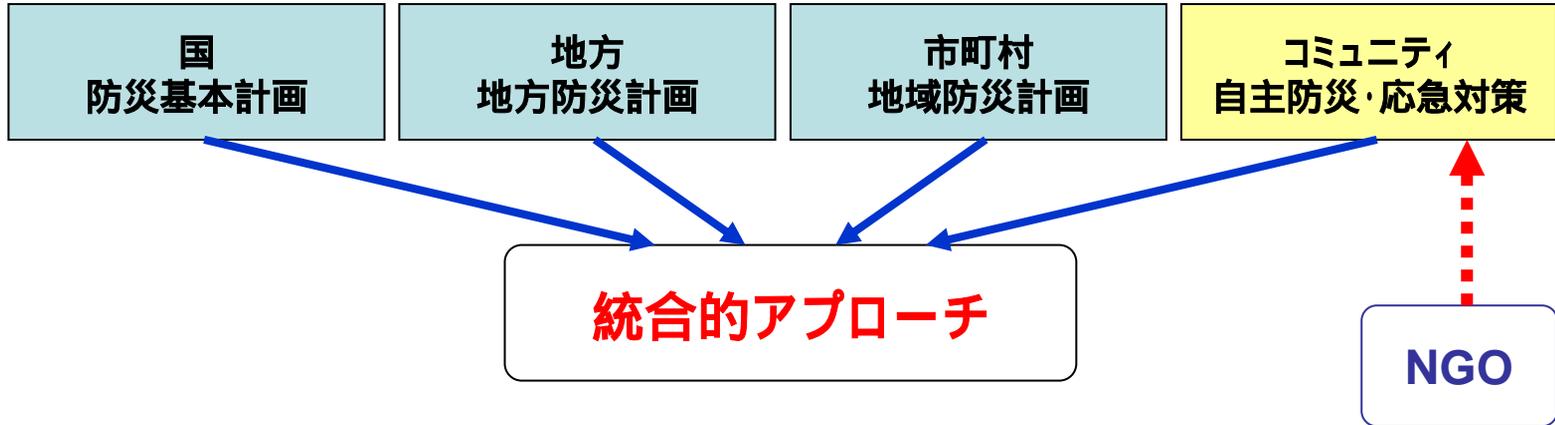


雲仙普賢岳の火山災害を経験している島原市職員が、ピナツボ火山の被災地を視察し、雲仙普賢岳噴火被害からの復興と、その後の防災活動についてピナツボの住民に説明

雲仙普賢岳噴火災害を経験した島原市と連携

3 . 統合的アプローチ

< 各主体の役割 >



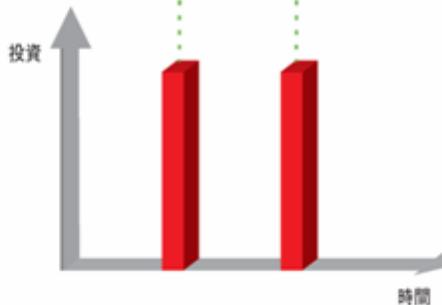
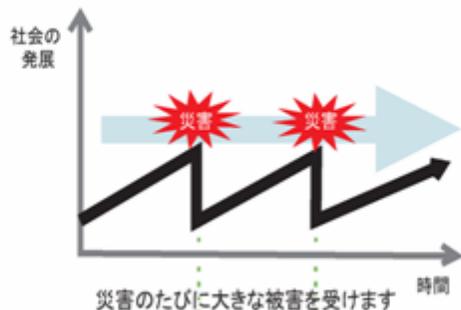
Ex.) タミールナド州植林事業（インド）

住民コミュニティが実施機関と連携し、住民委員会を組織して植林の計画、実施段階に参加。



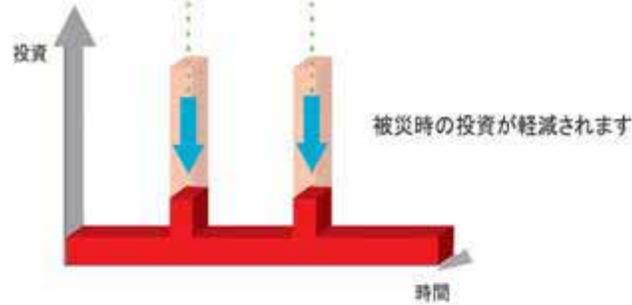
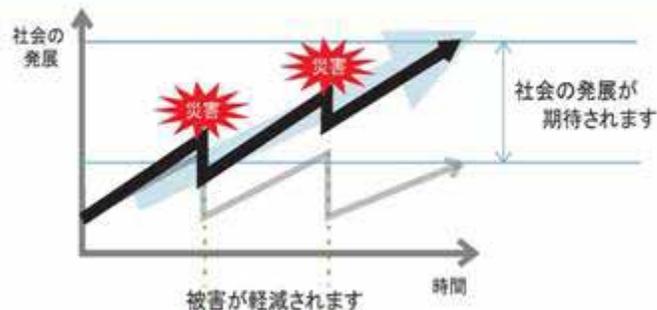
4. 今後のJBICの国際防災協力

災害予防のためのインフラ整備に投資しないと、、、



- ・災害のたびに大きな被害を受けます。
- ・被災時に災害復旧への大きな投資が必要です。
- ・災害復旧・復興に時間とお金がかかるため、社会の発展が期待できません。

災害予防のためのインフラ整備に投資すると、、、



通常時からの投資が必要です

- ・災害時の被害が軽減されます。
- ・通常時からの投資が必要ですが、被災時の投資が軽減されます。
- ・結果として、社会の発展が期待されます。